

## 1. 行政関係者等との意見交換

**兵庫県との行政懇談会** 令和4年8月31日(水)  
柴田まちづくり部次長、中野契約管理課長、菅設備課長をはじめとする兵庫県幹部職員と、兵庫県空調衛生工業協会及び兵庫県電業協会の会長、副会長、各委員会委員長による懇談会が開催され、当面する課題等について協議を行いました。

**<要望項目>**

- 若年入職者等の確保・育成
- 資材価格の高騰や製品納入状況を考慮した施工案件の発注
- 入札制度(単独受注できる金額、低入札価格調査制度等)の見直し



**自民党政策要望・意見交換会** 令和4年9月9日(金)  
山口会長、原田副会長、山口副会長が出席し、兵庫県議会自由民主党議員団黒川建設部会長をはじめ自民党議員と令和5年度兵庫県予算編成に対する要望と意見交換を行いました。

**<要望項目>**

- 若年入職者等の確保・育成
- 物価情勢を考慮した設備予算の確保

**公明党政策要望懇談会** 令和4年8月30日(火)  
山口会長、原田副会長、山口副会長、高谷総務委員長が出席し、兵庫県議会公明党・県民会議議員団松田団長はじめ公明党議員とリモート方式で要望と意見交換を行いました。

**<要望項目>**

- 若年入職者の確保・育成
- 物価情勢を考慮した設備予算の確保
- 製品納入状況を考慮した施工案件の発注



## 2. 協議会等の実施

**第1回兵庫県建設業育成魅力アップ協議会** 令和4年7月8日(金)  
山口会長が委員として出席し、「はじめての建築設備コースin兵庫」をはじめ今年度事業についての報告などを行うとともに、担い手確保の取組について情報交換を行いました。

## 3. 協会事業の実施

**1級管工事施工管理技術検定(学科)試験「実力テスト」<技術環境委員会>** 令和4年7月24日(日)  
弱点補強に重点を置いた効率的な復習を促すために、「過去の出題傾向を分析した問題で構成された」実力テストを実施しました。受験者は11社18名で、受験者の会社の会議室等(9会場)で行いました。

**先進事例施設見学会<技術環境委員会>** 令和4年8月26日(金)  
ダイキン工業(株)テクノロジー・イノベーションセンターを見学し、ZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)について説明を受けました。19社26名が参加しました。(本誌P6~7)

**はじめての建築設備コースin兵庫<未来ビジョン委員会>** 令和4年7月19日(火)~8月10日(水)  
未就業者の空調衛生設備業界への就業を支援するため、厚生労働省建設労働者育成支援事業として三田建設技能研修センターで開講された研修会において、協会会員が講義・実習などを担当しました。5名(うち県内定時制高校生3名)が受講しました。(本誌P5)

### 編集後記

皆さん、今回の「ゆう和」は、いかがだったでしょうか?

ここ数年、コロナ感染拡大によるイベント中止が相次ぎましたが、最近は、コロナ感染対策を徹底しながらのイベントが開催できるようになりました。「先進事例施設見学会」も、そんなイベントの一つです。ダイキン工業(株)テクノロジー・イノベーションセンターにおいて、空調の技術が、どのように進化してきたかを学び、かつ、最新の技術も知ることができました。私自身も、AIを用いて、室内のより良い温度環境を作っていく取り組みなどの説明を受けて、まだまだ、進化していく余地がある分野に関わっているのだと感じることができました。

「先進事例施設見学会」以外にも、「はじめての建築設備コースin兵庫」などのイベントが開催され、充実した内容の誌面が作成できたと思っております。次号以降も、広報委員一同、充実した内容の誌面作成に努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

広報委員 近藤 正也(株)神報建設工業所)

協会事務局 〒650-0011 神戸市中央区下山手通 5-9-18 古河ビル301 TEL: 078-341-0991 (協会 H.P.) <http://www.hyogo-kuei.or.jp/>

ゆう和【会員ご報告】2022年9月 NO.016 / 発行日: 2022年9月 / 発行者: 一般社団法人 兵庫県空調衛生工業協会 広報委員会 / 企画・編集: (株)プランニングオフィス・トライ



## 第47回 通常総会

会員企業41社参加(委任状提出39社)のもと第47回通常総会が開催され、令和3年度事業報告・決算報告、令和4年度事業計画・収支予算について、議案どおり可決承認されました。

- 日時: 令和4年5月26日(木)午後3時30分~
- 場所: ホテルクラウンパレス神戸



### 会長総会挨拶



山口 敬三 会長

この2年間は、コロナ禍のために、協会の活動も大幅に制限され、協会運営の根幹をなすこの総会も2年間にわたり、書面決議となりました。思い起こしますと、3年前、令和の御代替わりの記念すべき令和元年度の総会が、いみじくも兵庫県空調衛生工業協会設立40周年記念の節目でありました。今後は中断されておりました様々な事業を展開していくように考えておりますが、決して悲観してはならないと思います。引き続き、皆様のご支援ご協力をいただきながら、協会事業を充実、発展させてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

本日は、令和3年度の事業報告、決算報告、次年度の事業計画案、予算案を説明させていただき、我々、空調衛生工業業界の一層の進展に向けてご審議いただき、結束して新しい時代に対応してまいります。

私たち設備業が集まる協会として、資格取得のための準備事業から職場の労働安全といった事業、広報活動、先進技術への取り組み、行政機関との意見交換、そして、若年者の入職促進、人材育成事業など昨年度に引き続き取り組んでまいります。三田建設技能研修センターと進めている建設労働者育成支援事業「はじめて

の建築設備コースin兵庫」の取り組み、高校生のためのインターンシップマニュアルの作成・配布などを通じ、設備業の理解の増進を図っていきたく思います。加えて、協会の円滑な運営や行政との意見交換の理解を得るための一つとして会員の増強に力を注ぎ、それらの結果の一つとして、会員企業の若年者表彰制度の創設など活動を進めております。

昨年度事業について具体的に説明させていただいた上で、皆様にご審議いただき、引き続き、財政の健全化を持続しながら、設備業の振興、業界の活性化、人材の確保、雇用環境の改善、地域社会への貢献といった壮大なテーマのもとに協会運営に当たりたいと考えております。そのためにも、会員増強に向けては、活動を益々強化してまいりますので、ぜひとも、会員皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

そして、この総会終了後、兵庫県副知事服部洋平様をはじめ、兵庫県まちづくり部長西谷一盛様、設備課長菅雄二様、顧問の先生方をお迎えして、これも3年ぶりではございますが、懇親会の開催を予定しております。ご参加くださいますようよろしくお願いいたします。本日の円滑な総会進行をお願いしまして、令和3年度通常総会の挨拶とさせていただきます。

本日はありがとうございます。そして、よろしくお願い申し上げます。

兵庫県から服部副知事、西谷まちづくり部長、菅設備課長を来賓としてお招きし、協会顧問である兵庫県議会の藤田議員、松田議員、末松文部科学大臣秘書をはじめ多数の会員、賛助会員参加のもと、3年ぶりに盛大に開催しました。

なお、新型コロナウイルス感染防止対策として、マスクの着用、受付での体温測定・消毒を徹底し、着席スタイルの食事で懇親を図りました。



副知事祝辞

服部 洋平 兵庫県副知事



今日は、兵庫県空調衛生工業協会第47回定時総会が盛大に開催されましたことを、まずもってお慶び申し上げます。また、山口会長はじめ、業界会員の皆様におかれましては、日頃から建設推進、とりわけまちづくり、住まいづくりの推進に格別なるご理解とご協力、そしてご貢献をいただいておりますことを改めて感謝申し上げます。

さて、長引くコロナ禍ではございますが、ワクチン接種の進展効果なのか、ようやく県内の感染状況も落ち着いてまいりました。この間、皆様方におかれましては、エッセンシャルワークということで万全の感染防止対策を講じられた上で安全に工事を進められていただいておりますことを重ねて御礼申し上げます。

齋藤県政2年目になります令和4年度がスタートいたしました。知事の掲げます「躍動する兵庫の実現」に向けてのまさに第一歩を目指す1年になります。知事の掲げるビジョンの中で、新しい成長の種をまく、地域の価値を高める、安全安心の網を広げるという3つの目標の下、大阪湾ベイエリアの活性化、グリーン化の推進、また新たな観光戦略の推進に取り組んでまいります。住宅建築行政におきましても、県営住宅、県立学校をはじめ、県立施設の建て替えや計画修繕、長寿命化改修といったものに計画的に取り組んでまいります。その際には、脱炭素社会の実現を目指し、省エネルギー、省資源に対応した設備の導入、また、コロナ禍の教訓を踏まえた適切な空調設備、換気設備の整備を図っていきます。また、世界情勢の変化に依り非常に資材価格が高騰している中ではありますが、それを適正に反映しました価格設定、また、分離発注にも努めてまいりますので、引き続きのご支援ご協力をよろしく願います。

顧問祝辞

末松 信介 参議院議員 文部科学大臣(秘書代読)

兵庫県空調衛生工業協会令和4年度、第47回通常総会、懇親会のご開催を心よりお慶び申し上げます。今日は、公務のため、末松本人の出席が叶いませんことをご容赦いただきたく存じます。

さて、文部科学行政というのは、教育、科学技術、スポーツ、文化、芸術はいずれも我が国の未来を切り開く重要な分野であります。子どもは国の宝であり、国の礎です。科学技術の進展なくして経済発展は成し遂げられません。コロナ禍から我が国が立ち直ろうとする今、重責を担う意味を噛み締め、結果を残すべく努力してまいります。

建設産業においての高校新卒者の求人に対する入職率は近年の求人数の増加に加え、他産業との競合、少子化に伴い専門学校や大学への間口が広がっていること等により、近年、20パーセントを下回る傾向になります。令和3年度の厚生労働省の調査では、建設業への高校新卒者の就職者数が増加するなど一定の成果が表れてきています。建設業振興基金の地方拠点として実施する兵庫県建設労働者育成支援事業では、「空調はじめの建築設備コース」、「建設技能者コース」、「建設業入職コース」の3事業に計26名が受講し、技能者の確保に一定の成果があったと報告を受けたところです。引き続き、官民一体となり建設業への若年者の入職を促進していくため、皆様と心を合わせ、未来を切り開くべく、ともに頑張ってまいります。

藤田 孝夫 兵庫県議会議員



3年ぶりの総会、懇親会の開催、本当におめでとうございます。このように皆さんが笑顔で一堂に会して意見交換ができたりすると、これからはなんか明るくなるだろうという気分になるのは不思議なものです。けれども、これが気分ではなく現実のものであるように頑張ってまいりたいと思います。さて、兵庫県政ですが、齋藤県政が始まって4年度の事業予算が2月に可決して、今スタートしています。いろいろな不安と新たな取り組みがスタートしたところです。そして、20年間続いたものが、大きく変わるチャンスだということを実感しています。確実に長いスパンで成果が出るように松田顧問と一緒に、そのチェック機能を確実に出していきたくと思っています。そのためにも、様々な意見をいただきながら、それを県政に反映していきたくと思っていますので、変わらぬ意見交換をお願いいたします。

県政収入は8000億円ベースですが、令和2年から7650億円。そして、今年度は8700億円を予定し、ものづくり兵庫の底力だと思えます。マネーフローは順調なのですが、潤沢なマネーフローを少し早めに、少し多めに借金を返すというのが齋藤県政の基本です。それをあまり極端にやり過ぎると、皆さん方への発注業務そのものが滞ってしまいますので、コントロールをしていくことが大事だと思っています。

昨年度の予算報告で当協会からいただいた様々な提言のうち、入職する方の確保と、早めの前倒し発注という点について確実にやっていきたいと思っています。また、社会的な地位や、職人さんの実力が正当に評価されて、確実に時給が上がっていくような政策を取っていきたくと思っています。

松田 一成 兵庫県議会議員



今日は47回総会が無事盛大に開催されたことに心からお祝い申し上げます。皆様の前で経済を右肩上がりに回していかなければいけないと、改めて今、決意をしております。

この2年間、社会そのものが変わろうとしています。感染症は恐ろしいことで、社会の働き方も変わろうとしている中で、兵庫県空調衛生工業協会の皆さんがご苦勞をされたのは、コロナ禍で三密という問題がありました。どこの企業でも、家庭でも、空気清浄、新しい空気、きれいな空気が当たり前の社会になったということは、我々も一歩前進しなければいけないと思っております。

私も常々、皆さんのご苦勞や、様々な分野で技術革新等早い業界だということを伺っております。兵庫県で150億円くらいの補正予算を組んでまいりますが、コロナ対策、経済対策、様々な分野で苦勞されている分野にこれからケアをしていかなければいけないと考えております。コロナの感染症の問題、安全保障の問題など21世紀にこんなことがあるのかという国難が続いている状況の中で、やはりここは政権がしっかり安定しなければいけないと、我々も頑張らせていただいているところでございます。

結びとなりますが、兵庫県空調衛生工業協会の益々のご発展と、本日も参集の皆様のご健勝にてのご多幸を祈念いたしまして、私からの挨拶に代えさせていただきます。



■ お祝いの贈呈

業界発展に貢献したことにより叙勲、褒章、大臣表彰などを受賞した会員に協会からお祝いを贈呈しました。

(敬称略)

旭日双光章	株式会社山口商会	山口 敬三
国土交通大臣顕彰	株式会社原田工業所	原田 高幸
兵庫県自治賞	三神工業株式会社	高谷 俊則



■ 会長表彰

長年にわたり協会の委員会活動などを通じて協会の運営や事業に参画し、協会に多大な貢献をいただいた3名の方に会長から感謝状が贈呈されました。

(敬称略)

株式会社アスク	松田 守
株式会社神報建設工業所	近藤 正也
ハリマ設備工業株式会社	山中 賢作



新会員  
だより



【会社名】菅原設備有限会社  
【代表】菅原 洋一  
【所在地】〒675-2313  
兵庫県加西市北条町黒駒253  
TEL:0790-42-2738 FAX:0790-42-5220  
【事業内容】管工事、土木工事、建築工事

この度、兵庫空調衛生工業協会に新たに加入させて頂くことになりました菅原と申します。

当社は初代が、昭和52年に創業し、主に加西市内本管工事を中心に従事しておりましたが、平成4年に法人化し、土木工事のみならず機械設備工事に力を注ぎ、和洋リモデル工事を得意とし近年では、建築工事にも参加し、幅広く対応できる設備業者として日々邁進しております。

今後も同協会の一員として「安心、安全、品質の高い工事、きめ細やかなサービス」をモットーに尽力していく所存でございますので、ご指導ご鞭撻頂きますよう、よろしく申し上げます。



若年者等表彰状

優秀な技術、技能を身につけ、設備工事の施工実績を持つ若手技術者で、将来の活躍が一層期待される2名の方が表彰されました。



この度は「若年優秀者表彰」を賜り、誠にありがとうございます。建設業界と聞くと「男性社会」というイメージを抱かれることが多いなか、女性としてこのような評価をいただけたのは、至極光栄です。

文系学部を卒業した私は、今までほとんど関わりのなかった建築業界に飛び込みました。すべてのことが「はじめて」でしたが、永い歳月をかけ、CADを習得し、時には施工管理者として現場を納めることが出来るようになりました。最初からこの業界を選んだわけではありませんが、自分の書いた図面通りに現場が出来上がっていくのを目の当たりに出来るのが、この仕事ならではの魅力だと感じております。今後も、資格取得に励みながら、活躍の場をより広げられるよう努めたいと思います。

三神工業株式会社 隅田 愛



この度は表彰いただきまして誠にありがとうございます。大変光栄に思うと同時に身の引き締まる思いです。なにより日々ご指導いただいた会社の方々に心より感謝申し上げます。若年者表彰の受賞を機会に若手が働きやすい現場作り、この業界にこれから入ってくる人達や先輩方も含め今よりもっと良い作業環境にしていき、社会に貢献できるよう日々精進してまいります。

播州設備株式会社 大岡 政人



令和4年度建設労働者育成支援事業  
はじめての建築設備コースin兵庫  
令和4年7月19日(火)～8月10日(水) 17日間

7/19 火 開講式 建設業で働くための基礎知識 【場所】三田建設技能研修センター(本館)

7/20 水 座学講習 建築設備の基礎知識・給排水設備について 【場所】ハウジング・デザイン・センター神戸 【講師】井戸 裕之(池水工業(株)) 藤井 一博(藤井設備工業(株)) 小川 裕之/中村 孝広/面川 貴志((株)ノーリツ) 大郷 久司(テラル(株)) 渡辺 剛史/佐々木 覚(TOTO(株))

7/21 木 現場見学 兵庫県自治研修所・ひょうごはじまり館 【講師】横山 進(兵庫県設備課) 坂田 俊輔(兵庫県設備課) 佐藤 勝也((株)イトーヨーギョー)

7/22 金 会社説明会 【場所】三田建設技能研修センター(本館)

7/25-26 月・火 ガス溶接技能講習 【場所】三田建設技能研修センター(実習場)

7/27-28-29 水・木・金 玉掛け技能講習 【場所】三田建設技能研修センター(本館・実習場)

8/1・2・3 月・火・水 小型移動式クレーン運転技能講習 【場所】三田建設技能研修センター(本館・実習場)

8/4 木 CAD実習 【場所】三田建設技能研修センター(本館) 【講師】山中 賢作(ハリマ設備工業(株)) 米井 珠見(黒崎水道建設(株))

8/5 金 足場特別教育 【場所】三田建設技能研修センター(本館)

8/8 月 実技実習 給水の接合、水圧テスト等・鉄管の切断、ネジ切等 【場所】三田建設技能研修センター(実習場) 【講師】齊藤 保晶(齊藤設備工業(株)) 藤井 一博(藤井設備工業(株)) 山口 智裕(播磨設備(株)) 溝口 一儀(モノノ(株)) 佐々木 正信(住田建設(株))

8/9 火 実技実習 エアコンの仕組みと種類・冷媒サイクル 【場所】日立グローバルライフソリューションズ関西西技術研修所 【講師】小林 充(常盤電機(株)) 山口 智裕(播磨設備(株)) 佐竹 輝昭((株)イトーヨーギョー)

8/10 水 閉講式 合同面接会 【場所】三田建設技能研修センター(本館)

ダイキン工業株式会社  
テクノロジー・イノベーションセンター  
(淀川製作所内)

開催日: 令和4年8月26日(金) 参加者: 26名

最先端の空調テクノロジーを通して、  
暮らしに“ここちよさ”をお届けしている企業、ダイキン。

淀川製作所は、フッ素化学世界第2位の「化学部門」をはじめ、「空調部門」、「油機部門」、「特機部門」の4つの製造部門とグローバル研究会開発拠点である「テクノロジー・イノベーションセンター(TIC)」が共存する多彩な技術の交差点です。

なかでも、2015年11月にオープンしたTICは、建物そのものがダイキンの技術の結晶です。建物・設備は空調を主体とした環境技術を導入。「圧倒的省エネ性能」と「快適な室内環境」を両立させたソリューションモデルとして活用されています。そして、TICは、国内外の建築環境評価認証であるLEED認証(最高ランク:プラチナ)・CASBEE認証(最高ランク:5クラス)を取得しています。



圧倒的省エネの具現化「ZEB」へ

- ・標準ビルと比較してエネルギーの70%削減(※2016年度実績)
- ・運用改善や新技術の実証結果を新商品や新サービスにフィードバックすることにより、グローバルにおける地球温暖化ガス排出量削減に貢献します。

「快適な空間」の実証・「生産性向上」への進化

- ・空調の効率化をはじめ、快適性を維持する空間を実証。
- ・「個人差」や「人の分布」などを考慮した「室内環境の指標」を検証。
- ・生産性向上を図る空間制御をおこなう快適ソリューション開発の実践。

熱の有効利用

熱幹線、水熱源VRV、太陽光集熱、地熱、フリークーリング

外皮性能の向上

ゼッフル遮熱塗料

自然エネルギーの有効活用

太陽光追尾架台



空調の超効率化

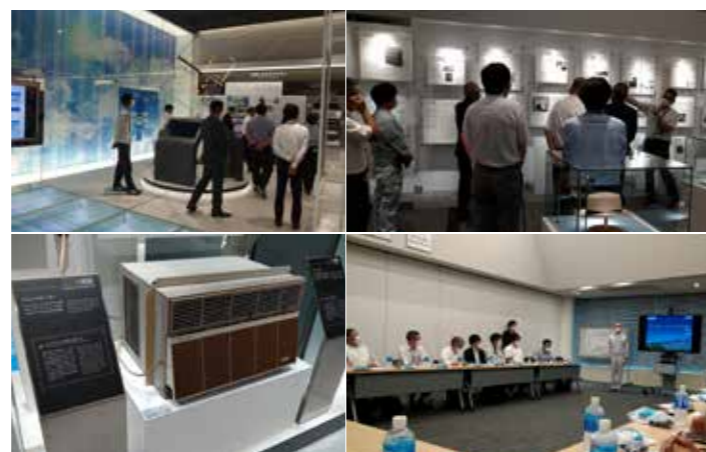
VRV・DESICA

最適制御

エネカット、TBAB蓄熱、最適モード運転、多分割グリッド検証・研究

その他の導入技術

高断熱Low-E複層ガラス、自然換気、自然採光、太陽光自然追尾採光システム、クールヒートトレンチ、照明制御、太陽光発電、リチウム電池



ZEB (Net Zero Energy Building)

パリ協定(2015年12月締結)で定められたCO<sub>2</sub>排出量の削減に向けて大きな役割が期待される建築物の省エネ。なかでも注目される技術が、オフィスのZEB化です。建物で消費する省エネ(へらす)と創エネ(つくる)を組み合わせることで、一次エネルギー(年間)の収支をゼロに抑えるものです。これを実現できれば、1つの建物の中でエネルギーを自給自足できることになります。

ダイキン工業では、新築だけではなく既築のビル、特に中小規模ビルでのZEB化も必須と考えています。

■ZEBが導入された背景

産業革命前に比べ、世界の平均気温が2021年から2040年に1.5度上昇するという予測が公表されました。世界の平均気温が1.5度上昇すると、熱波などの極端な高温、極端な大雨、農業に被害を及ぼす干ばつ、2100年までの海面上昇が引き起こされ、異常気象が増えます。これらの自然災害の原因として人間活動による温暖化が影響していると政府は断定しました。そして、2020年10月、菅元総理が、「2050年カーボンニュートラル脱炭素社会の実現を目指す」と宣言。カーボンニュートラルとは、二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの「排出量」から、森林管理などによる「吸収量」を差し引き、合計をゼロにすることです。それを達成するためには、温室効果ガスの排出量の削減並びに吸収作用の保全や強化をする必要があります。そこで、地球温暖化対策推進本部で、2030年度に、温室効果ガスを2013年度から46%削減し、さらに50%を目指して挑戦することを表明しました。それには人間活動を停止すれば簡単なことなのですが、無理な話です。そこで注目されたのが、「省エネ」と「再エネルギー調達」として考えられたZEB(Net Zero Energy Building)です。

■ZEBとはなにか

ZEBとは、建物の躯体や設備の省エネ性能の向上、または太陽光発電などの再生可能エネルギーを利用し、建物全体の一次エネルギー消費量を限りなくゼロにするという考え方です。ZEBを採用したときに、建物に対してどのようなメリットがあるかという、光熱費の削減が挙げられます。次に、快適性・生産性の向上が挙げられます。集中管理のリモコンで運用を改善し、より省エネなものにしていくことができます。さらに、不動産価値の向上です。地域から見ても脱炭素化に貢献しているという評価を得ることができるため、不動産価値の向上や町として魅力の向上につながると考えられます。そして、事業継続性の向上です。ZEBを実現することで、災害時に再生可能エネルギーを蓄えておくことでエネルギーの自立を図ることができ、レジリエンスを高めることにつながります。

ZEBの実現・普及に向けて、4段階のZEBシリーズが定義されています。延べ面積が10,000平米以上の建物だけに適応される「ゼブオリエンテッド」、省エネルギーで50%以下まで削減する「ゼブレディ」、省エネと創エネで25%以下まで削減する「ニアリーゼブ」、ゼロ以下にする「ゼブ」という4段階です。ZEBの評価に関しては、設計段階の対象設備の一次エネルギー消費量で評価されます。つまり、日射遮蔽や断熱性能を上げるなどの外皮性能向上などのパッシブ技術や、創エネルギーである太陽光発電などを建物の設計段階でトータル的に消費量計算プログラム(WEBPRO)を用いて実施します。そして、ZEBにおいて重要なのは、外皮性能であるBPIとエネルギー消費性能であるBEIです。ゼブレディを目指すのであれば、BEIが0.5未満であれば達成できます。BPIについては補助金を使う場合のみ制約が設けられますが、建物のZEB化を図るにはBEIに注目すればよいと考えられています。しかし、BPIは空調の負荷を下げる要因となるので疎かにはできません。

■ZEBの取り組み

ZEBを実現するためには、要件である50%以上の省エネが必須になります。そこで、エネルギーをどう削減し、快適性を保つかがZEB達成のカギとなります。一般的なオフィスビルでは、照明と空調だけで全電力消費の72%を占めています。照明と空調に注目して、これらのエネルギーをいかに効率よく削減し、快適性を保つかがZEB達成のカギです。ダイキンではこの2点に着目し、実現したのが普及型ZEBです。ダイキンの考えるZEBは、空調と換気、照明設備を高効率のものに更新するだけでZEBを達成しようというものです。つまり、古い機械を高効率のビル用マルチに置き換え、換気に関しては全熱交換器を導入することで空調の負荷をさらに下げていき、なおかつ、換気もできます。照明に関しては、蛍光灯をLEDに替えることでより高効率なものにします。また、導入した後も、集中管理コントローラによる一括管理によりエネルギーの改善をしていくことです。

■ZEB取り組み事例紹介

ダイキン工業福岡ビルは築約20年のビルでしたが、過剰なスペックを下げ、DESICAを導入することで「ゼブレディ」を達成。空調機プラスエネルギーの見える化により集中管理を入れて運用改善をしています。実測値では67%削減を達成しました。ダイキン工業の江坂ビルは、ゼブレディとCASBEEのウェルネスオフィスを取得しています。これは、基本性能である健康や快適性、利便性、安全・安心を点数化し、建物の中のレイアウトや人が快適に仕事ができることなどをトータルで評価したものです。

■兵庫県における取り組み

全国で758自治体がゼロカーボンシティを表明しています。兵庫県の中でも17自治体が宣言しており、地域の企業や団体と一緒に二酸化炭素排出実質ゼロに取り組んでいます。なかでも尼崎市と姫路市、淡路市は、電力消費に伴うCO<sub>2</sub>排出の実質ゼロを実現し、他の地域の模範となるような地域という「脱炭素先行地域」に選定されており、電気自動車の普及や燃料の活用、光熱費の見える化などの取り組みがなされています。

